

1974 (毎月1回)

7月号

(村の面積)

332,60 km²

発行所 福井県大野郡和泉村



(昭和49年6月1日現在)

村の人口

2,132人

1,113人

1,011人

1,121人

1,111人

人口
男女 生死入出
出生転入 転出

世帯数 592世帯



役場前で開かれた〈青空対話〉

対話県政の一環として、去る七月三日、知事を始め、県の関係部課長等が来村し、村内四地区（下山、上大納、朝日、後野）において「青空対話」が開かれた。

これは、県行政のサービス窓口として、広く県民の声を聞き、行政に対する要望等の解決を促進して、行政事務の向上と住民の行政参加意識の向上をはかることを目的に開かれたものである。

この日は、あいにく雨のち曇りと言った天候であったが、村長の司会のもとで、対話が進められ、

「青空対話」が開催される

重要問題の早期解決を

住民から本村の発展につながる建設的な要望等があつたのに對し、県もこうした重要問題の早期解決に努めるとの回答があるなど、意義ある青空対話を終えた。

主な要望事項は次のとおりです

一、越美北線のダイヤの増発及び改正について

二、国道（上半原—油坂間）の改良、及び県道の改良について

三、電話の自動化について

四、保健婦の常駐制度について

五、複式学級の解消について

六、奥越森林総合レクリエーションエリヤ開発事業促進について

七、第七十三回定期議会

議案十件 報告二件を可決

一般会計二千四百万円を追加

第七十三回定期議会は、六月六日招集され、昭和四十九年度一般会計補正予算（第一次）を始め

税条例の一部改正、使用料及び手

数料条例の一部改正など議案十件

報告二件を原案どおり可決しました。おもな議案は次のとおりです

◆和泉村行政推進審議会条例の制定について

◆地方自治法第一三六条の第四項の規定に基づき和泉村行政推進審議会を置く

◆和泉村税条例の一部改正について

て

◆和泉村使用料及び手数料条例の一部改正について

村民グランド 一 般 五〇円

(一回) 小中生 二〇円

団体 一般 三十円

二〇名以上 小中生 一〇円

◆和泉村国民健康保険条例の一部改正について

◆和泉村中壇保育所設置条例の一部改正について

◆和泉村普通河川における土石採取料徴収条例一部改正について

◆昭和四十九年度和泉村一般会計補正予算（第一次）

◆和泉村教育費（除雪機械購入費ブルドーザー）

（体育館設計委託料、小中学校等放送設備、校舎修理等）

◆昭和四十九年度和泉村簡易水道事業特別会計補正予算

◆和泉村簡易水道事業特別会計補正予算

◆人権擁護委員の選任につき議会の同意を求めることについて

◆財産の無償譲渡について

◆人権擁護委員に宇野重豊氏（下山）が選任されました。

◆財産の無償譲渡について

◆和泉村後野分校（木造瓦葺二階建及び木造平家建の五十九平方メートル）が後野、伊

月の両区で譲渡されました。

進む!! 影路トンネル工事

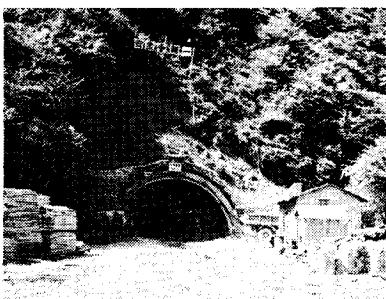
六億九千七百万円を投入 掘削四八〇米終える

の進歩状況であります。

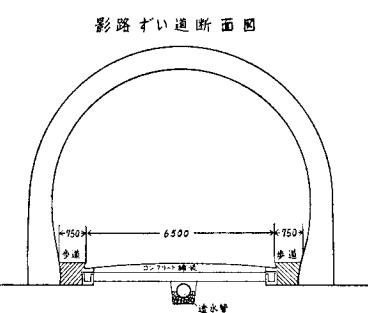
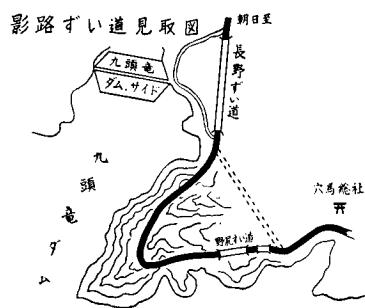
国道一五七号線の九頭竜ダムサ
イド附近の長平隧道と立合橋間に
おける影路トンネルは、工事費六
億九千七百万円で五洋建設（下請
坂川土建）によって、昨年十二月
から工事が進められています。

このトンネルは、延長六〇二、
五メートル員六、五メートルで、車道の両
側に七五センチの歩道がついてい
ます。また、トンネルの続きに二
一七、五メートルの取付道路工事も行な
われることになっています。

この工事は、五十一年三月末ま
でに完成する予定ですが、六月末
現在において、トンネルの上部半
断面掘削四八〇メートル、同巻立三八〇
メートルが終わり、工事全体で約四十分
間が終わり、工事全体で約四十分
間が終わり、工事全体で約四十分



影路トンネル工事現場



「家庭の日」田標

太陽の下で
からだをきたえよう

村内一斉消毒を計画

梅雨が明けると暑さも一段と厳
しくなり、うだるような毎日が続
きますが、こうした時期は、赤痢
や日本脳炎などの伝染病が発生し
やすい時です。

住民課では、こうした伝染病を
予防するため、村内の一斉消毒を
七月中において、次の日程により
計画しておりますので、皆さんの
ご協力をお願いします。

※十七日～十九日
下大納、上大納、中竜地区
和三十二年四月一日までに生
受験資格
昭和二十九年四月二日から昭
和三十二年四月一日までに生
受験資格
※十七日～十九日
下大納、上大納、中竜地区

「はり・あんま・
やいと」の奉仕

和泉村では、老人福祉事業の一
環として、福井県立盲学校に依頼
し、生徒約四〇人によって、村内
の六十五才以上の老人を対象に、
はり、あんま、やいとのなどの実習
を兼ねた奉仕を村内五ヶ所におい
て、してもらうことになりました

日程は次のとおりです。

※三十一日 八月八日 朝日周辺と後野地区
八月九日 下、上大納、下山地区

税務大学校学生募集!!

金沢国税局・税務署

国は、産業、経済、文化の向上

受付期間
七月十八日～三十日まで
第一次試験 十月六日（日）

問い合わせ先
もよりの税務署または金沢国

税局人事課へ。

たばこは村内で
まれた男子。

昭和四十八年度において和泉村
へ納入された「たばこ消費税」は
四五三万五千余円であります。

この税金は、村の道路、橋、学校
等の公共施設を使われております。
村内たばこ店で二〇本入り一個
をお買いになりますと「十五円六
十八銭」がたばこ消費税として、
専売公社から納められます。

村をより豊かにするために、た
ばこは地元のたばこ店で買いまし
ょう。



影路トンネル工事現場

和泉村議会議員選挙

土谷氏ら十二名決まる

任期満了に伴なう村議会議員選挙は、六月十六日に告示され、六月二十三日執行されました。投票は、村内五ヶ所の投票所において午前七時から午後六時（第三から第五投票所は午後五時）まで行なわれ、即日開票の結果、午後九時四十分には各候補者の得票数が確定し、十二名の議員が誕生しました。

期待するわが代表

一、二七八人が投票を

なった。

梅雨時であるため雨が心配された投票日は、朝から曇り空で、四年間の村政に夢をかけ、立派な代表を送ろうと、投票開始を待って清き一票を投じ、午前十一時の中央投票速報では、五四パーントを上廻り、選挙人の出足は良く、最終確定投票率は、九四、一一パーセントで前回の九四、五五パーントと、ほぼ同率の好投票率と

小学校において、約三百人の参観者が見守る中で行なわれ、九時四十分には、各候補者の得票数が確定し、十二名の議員が誕生した。

和泉村議会議員

選挙開票結果

	次	当	当	当	当	当	当	当	当	當	當	當
三	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二
梅坪国雄	宇野一雄	田村繁吉	吉村外治	中山正	八五	八六	八七	八八	八九	一〇六	一二三	一三一
無現	無現	無現	無現	無現	無新	無新	無新	無新	無新	無新	谷義明	土谷利美
44	56	61	25	48	48	54	40	45	45	48	50	47
												53

投票の状況

	当日の有権者数			投票者			棄権者			投票率		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
今回												
49年6月	679	679	1,358	634	644	1,278	45	35	80	93.37	94.85	94.11
前回												
45年7月	764	759	1,523	722	718	1,440	42	41	83	94.50	94.60	94.55
前々回												
41年7月	1,237	1,065	2,302	1,136	972	2,108	100	92	192	91.84	91.27	91.57

選挙の結果

投票者	投票			差引過不足	0票
	総数	1,278票	総数	1,278票	
有効投票			無効投票		有効投票中いずれの候補者にも属さないもの
票総数	1,270票	票総数	8票	差引過不足	0票

第十一回参議院議員通常選挙は、七月七日午前七時から村内五投票所において、六年間の国政に託す清き一票が一斉に投じられた。また、開票は午後八時三十分から朝日小学校において行なわれ、地方区は午後十時過ぎ、全国区は午後十一時過ぎに各候補者の得票数が確定した。

今回の選挙は、悪性インフレに伴なう諸物価の高騰など、国民の

オ10回

参議院議員通常選挙結果

投票は午前七時一斉に開始

政治に対する不満の声が高まつている中での選挙で、投票率の低下が心配され、今回に限り特例によって、投票時間を一時間延長して行なわれた。

本村においては、投票率八四・一%と、前回を一・六四%上廻り、県平均八〇・〇一%（前回六八・〇一%）を上廻り、選挙民の積極的な国政参加への姿勢が示された。

内訳 選挙別	当日の有権者数			投票数			棄権者			投票率		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
今回 (49年)	705	698	1,403	602	578	1,180	103	120	223	85.39	82.81	84.11
前回 (46年)	782	772	1,554	647	634	1,281	135	138	273	82.74	82.12	82.43
前々回 (43年)	1,117	1,000	2,117	777	769	1,546	340	231	571	69.90	76.90	73.03

投票状況

候補者氏名	今回(49年)			前回(46年)			前々回(43年)				
	得票数	%	候補者氏名	得票数	%	候補者氏名	得票数	%	候補者氏名	得票数	%
浅田 豊	51	4.44	坂口 章	48	3.88	吉田 一夫	72	4.86			
堀川 功	535	46.60	辻 一彦	720	58.11	辻 一彦	715	48.31			
熊谷太三郎	562	48.96	高橋 衛	471	38.01	熊谷太三郎	693	46.82			
計	1,148	100		1,239	100			1,480	100		
投票者数	1,180		投票者数	1,281		投票者数	1,546				
有効投票	1,148		有効投票	1,239		有効投票	1,480				
無効投票	32		無効投票	42		無効投票	66				

昭和49年7月7日執行

参議院全国選出議員選挙候補者別得票

届出番号	党派	候補者	得票	届出番号	党派	候補者	得票	届出番号	党派	候補者	得票
1	自	おかべ 保	0.	42	自	山 下 春 江	2.	83	社	かすや 照 美	2.
2	自	永野 鎮雄	12.	43	自	糸 山 英太郎	0.	84	民	向 井 長 年	21.
3	自	神田 博	1.	44	無	志 水 源 司	0.	85	自	江 藤 智	242.
4	公	藤原 房雄	0.	45	無	勝 部 栄	0.	86	自	宮 田 輝	15.
5	社	田 中 一	7.714	46	社	片 山 茂	8.	87	公	上 林 繁次郎	0.
6	無	吉川 藤三	0.	47	無	渡 辺 正敏	0.	88	無	小 林 勉	0.
7	無	辻 田 恒	1.	48	共	小 巷 敏	0.	89	公	内 田 せんり	4.125
8	社	あんのう 勝	3.	49	無	ア サ ノ トシヲ	0.	90	自	小 林 国 司	0.
9	無	田 島 敬	1,	50	公	みね山 昭範	3.	91	民	たぶち 哲也	3.
10	無	市 川 房 枝	7.	51	無	心 忍 久	0.	92	自	まおか 文太郎	5.
11	自	玉 置 たけお	1.	52	無	神 田 惣一郎	0.	93	社	目黒 けさ次郎	48.
12	自	武 智 鉄 二	0.	53	無	河 野 孔 明	0.	94	青 島 幸 男	13.	
13	諸	青山 雅彦	0.	54	自	福 島 つねはる	0.	95	自	長 田 裕 二	72.
14	自	内 田 芳 郎	6.875	55	社	安 永 英 雄	38.	96	自	さかの 重 信	0.
15	社	野 田 哲	1.	56	無	真 田 博	0.	97	無	福 間 知 之	1.
16	無	友 田 不二男	0.	57	公	太 亀 井 善 彰	6.	98	無	松 田 照 久	0.
17	無	藤 本 守	0.	58	自	横 井 庄 仁	0.	99	無	藤 崎 作	0.
18	無	加 藤 英 一	0.	59	無	長 谷 川 功	5.	100	無	戸 谷 藤 之助	8.
19	無	高 橋 こうじ	10.	60	自	内 藤 ゆたか	0.	101	自	大 岡 広	8.
20	自	山 東 昭子	17.	61	共	藤 田 正 男	2.	102	自	とうごう けん	0.
21	共	立 木 洋	3.	62	社	は た や か	1.	103	無	松 原 繁	0.
22	公	鈴 木 弘	1.	63	共	岩 間 正 博	3.	104	無	田 中 広	0.
23	自	齊 藤 栄三郎	2.	64	自	大 松 文 博	99.	105	無	高 橋 一	0.
24	自	源 田 実	2.	65	自	上 田 みのる	86.	106	諸	中 保 人	0.
25	公	二 宮 文 造	0.	66	公	塩 出 啓 典	0.	107	無	高 太 人	0.
26	無	高 橋 卵 市	0.	67	諸	江 波 進	2.	108	無	前 田 勇	0.
27	共	山 中 いく子	0.	68	自	横 山 フ ク	3.	109	無	佐 藤 吉	2.
28	無	大 西 末 子	0.	69	無	コ ロ ン ピ ア・ト ッ プ	13.	110	無	小 坂 三 郎	0.
29	民	井 上 計	2.	70	民	からたに 道 一	0.	111	無	植 木 尊	0.
30	無	田 代 ゆきお	0.	71	自	田 沢 ともはる	0.	112	諸	菊 池 峰 三郎	0.
31	共	近 藤 忠 孝	17.	72	自	佐 藤 信 二	2.	(A)	得 票 総 数	1.116.999	
32	自	迫 水 久 常	5.	73	社	加 藤 シズエ	3.	(B)	按 分 の 際 切 り 捲 て た 票 数	0.001	
33	自	さ か 健 泰	12.	74	無	品 川 司	0.	(C)	い ず れ の 候 術 者 に も 属 し な い 票 数	0.	
34	自	森 下 土 志 延	3.	75	諸	高 松 が ん	0.	(D)	有 効 投 票 数	1.117.	
35	無	中 山 土 志 延	1.	76	社	松 本 英 一	1.	(E)	無 効 投 票 数	63.	
36	社	あくね 登	255.	77	自	村 上 邦 生	0.	(F)	投 票 総 数	1.180.	
37	公	三 木 忠 雄	1.	78	民	和 渡 武	0.	(G)	持 帰 り そ の 他	0.	
38	無	横 山 ノック	2.	79	共	丸 茂 忠	2.	(H)	投 票 者 総 数	1.180.	
39	自	山 口 淑 子	2.	80	自	田 中 忠 雄	1.285				
40	社	和 田 静 夫	4.	81	自	鳩 威 一 郎	11.				
41	共	神 谷 信 之 助	0.	82	自						

頑張れ!! マラソンじいさん

六月十四日本村を訪れる

富山市で文具商を営んでいた岡田二朗さん(八十才)は、マラソンによって、健康の増進を念願し全国各地を訪れていましたが、去る六月十日本村を訪れました。

今回は、富山市から岐阜県白鳥町間を完走しようとするもので、この日は早朝、大野市勝原を出発し、正午ごろ本村に到着した。

役場前などには、このマラソンじいさんを激励しようと多くの人が集まり、おしゃべり拍手が送られました。

このじいさんのマラソン歴は古く、昭和九年、富山一下関間の完走から始まり、北海道、九州一周など全国各地を訪れています。

又、数々の大会に参加し、上位



マラソンじいさんをむかえる人々

入賞あるいは優勝という輝かしい成績を収められています。このマラソンじいさんの真似はできないにしても、毎日少しづつでも走って健康を保ちたいもので

す。

快走するマラソンじいさん



ごみ処理専用車を購入

本村では住民の皆さんのお困り事などで納得のできない、ど

んな小さな相談でも結構です。

あなたの行政に対する苦情や、相談、要望を、国、県、市町村の行政に反映させて下さい。

行政相談員 稲郷貞一(朝日)

見舞・お祝い返しをやめよう

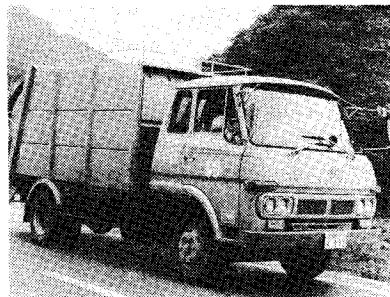
村公民館及び村婦人会では昭和四十八年度より、新生活運動の一

つとして見舞、祝いの返しはやめましょうと各分館ごと又婦人会団体ごとに話を進め、従来までのやり方を改めたところです。

これは年々ごとに派手になり高価な返しをすることになるので、こ

うしたこととは一切しないようにと申し合せをしましたが、現在では実行されている所と、されていない所がありますので、なお一層の協力をお願いいたします。

新ゴミ処理車の勇姿



警察官募集!!

情熱と正義感をもったあなたを求めています

福井県警察本部では、本年十月一日と明年四月一日採用予定の警

察官を募集しています。

◆警察には理想があります。

◆警察には正義があります。

公　民　館　だ　よ　り

大納公民館では、任期満了に伴ないこのほど役員改選が行なわれました。役員は次のとおりです。

大納公民館長 原 雄雄
運営委員長 長岡昇一
運営委員 山岸金次 幅下利夫
三坂保司 松田忠直 横地市春
谷口利和 畠屋絹子 谷口松子
菊安みづ子

会長に桜川正浪氏

本年度事業計画決まる



駐　車　場

和泉村体育協会	会長	副部長	新屋則夫	朝日
業報告のあと、本年度事業計画と事	副会長	水谷光一	"	
これに伴なう予算の承認が行なわ	理事長	山本一郎	朝日	
れた。又、引き続き役員の改選が	副会長	小森嘉和	上大納	
行なわれ、次の方々が選ばれまし	理事長	谷口三代	上大納	
た。	副会長	河口孝次	下山	
常任理事	中上正一	新井真澄	川合	
理事長	稻郷栄一	中内智利	坂上三四	
各部担当理事は次のとおり	小山良一	上大納	丸山義治	
上	杉原情一	上大納	谷政信	
陸	谷口三代	上大納	洞口一夫	
★バレーボール	谷口三代	上大納	貝皿	
★卓球	副部長	坂上三四	朝日	
★バレエーション	副部長	中村貞代	朝日	
★スキー	副部長	丸山義治	上大納	
来客専用の駐車場を指定	副部長	水谷光一	朝日	

役場前の広場をよりよく活用するため、この程、来客用駐車場（黄線で囲む）を確保し、あわせて役場職員等の専用駐車場所（番号入り）を定めました。

去る六月三日の打波大火に伴なう、見舞につきましては村民各位のご協力をいただき厚くお礼申し上げます。早速本村助役から大野市長を通じて、皆さんから寄せられた、現金十五万五千円と白米六斗七升を罹災者に送り、皆さんのご厚情に心から感謝されました

郵便局より

郵便物の事故はすぐ郵便局へ

郵便物が届かないとか中身がた

らないときの事故があつた場合は

すぐ、もよりの郵便局へお申し出

てください。

郵政省には（郵便物の事故申告

処理制度）がありまして郵便物が

届かない等の事故があつた場合お

申し出（口頭、電話、文書、何ん

でも方法は結構です）により郵便

物が差し出されたところから配達

順に調査してご回答申し上げることにしております。

これらの事故のお申し出はどこ

で、ことばが正しく使えるよう

訓練することが大切です。

◎ことばの発達を土台にして、認

識を深め思考力を育てる……こ

のよう下地を整えることが先

決なのです。

「数の教育」

この郵便局でも受け付けることになっておりまして郵便局では郵便の仕事に精通した職員が利用者の方々からご相談を受けたり事故の調査にあたっております。

普通郵便で差し出したからとい

うことで、あきらめたりしないでください。

教育相談 シリーズ(2)

◎家庭で文字や数を教えておくべきでしようか。

大切な「ことばの教育」

近ごろの子どもは、テレビや絵本から、自然に覚えて読んだり、書いたりするものが多くなっています。

間違えて覚えたり、妙な筆順で書いたりして、あとで訂正するのに骨が折れることもありますから

子どもが関心を示した時には、正しく教えてやることが必要です。

しかし、もっと大切なことは

◎自分が見たこと、感じたことをことばで、はっきり話すことができるようになります。

◎話すことばは、日常生活と密着しているため、かえっておざなりにされているので、生活の中

で、ことばが正しく使えるよう訓練することが大切です。

◎ことばの発達を土台にして、認

識を深め思考力を育てる……こ

のよう下地を整えることが先

決なのです。

【死　亡】

上大納　谷　口　豊　成　七七才
【赤ちゃん誕生】

朝　日　野尻一也　広　長男

「待望の『アユ』解禁

この五月中旬と、六月上旬の二回にわたり、大納川、石徹白川に放流したアユ（四百kg）が例年に比べて成育状況もよく、夏らしくなった七月二十一日釣爱好者者が待ちかねていた解禁日となります。

当日は、清流と和泉鮎の他に見られぬ魅力に引かれ早朝よりの釣天狗が集まり、日頃人影なき小谷堂附近は、時ならぬ賑わいを見せ

腕を競い合うことでしょう。

が必要です。

◎低学年の子どもは、具体物によつかり手で考え、体で理解するというように、具体的な経験を通して知的能力を発達させるのです。

ですから、子どもの行動に干渉や制限が多すぎたり、保護しきすぎると、新しい経験や、成功の喜びを知らず、物事をやり上げようとする意欲が育たないばかりか、自信を失つて学習活動に支障を来たすことになりますから注意したいものです。